

最大7割引! おーバス乗り放題の定期券

「noroca」期間限定販売中 —1ヶ月約2,300円※1で市内全線※2 乗り放題—



小山市では、マイナンバーカードを持っている方を対象に、新しい定期券「noroca (のろか)」を期間限定販売中です(2020年9月末日まで)。従来の定期券に比べ年間最大7割引と、驚くほどおトク。おーバス片道200円/往復400円に対して、1ヶ月当たりわずか2,300円※1ほどで「乗り放題」に。例えば6ヶ月定期や12ヶ月定期なら、週に1~2日使うだけで元がとれてしまいます。使える路線も、1路線※3から11路線へと大幅増。もちろん、何回乗り換えても乗り放題です!

※1 12か月定期の1ヶ月当たりの価格2,333円を10の位で四捨五入した金額
※2 小山市駅東口循環線、小山市駅東口・新市民病院循環線、デマンドバスを除く
※3 定期券購入者が任意に選択

小山家のある朝



norocaがあれば、おーバスが乗り放題です

月々わずか2,300円※1で「乗り放題」

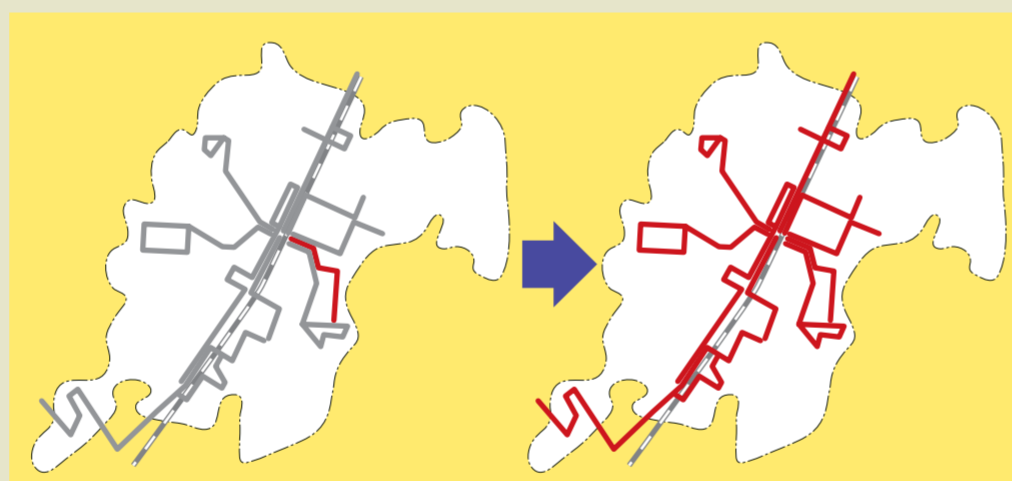
※12か月定期の1ヶ月当たりの価格 2,333円を10の位で四捨五入した金額

| | 通常の利用 通勤で週に5日利用 1往復=400円(200円×2) | 新定期券 (中学生以上 65歳未満※1) | 1ヶ月当りの 価格 | お得になる 利用日数※2 |
|------|--|----------------------------|--------------------|-----------------|
| 1か月 | 8,000円 | 4,200円 | 50% OFF 4,200円 | 11日 |
| 3か月 | 24,000円 | 12,000円 | 50% OFF 12,000円 | 10日 |
| 6か月 | 48,000円 | 15,000円 | 70% OFF 2,500円 | 7日 |
| 12か月 | 92,000円 | 28,000円 | 70% OFF 2,333円 | 6日 |

※1 小学生・65歳以上の方が半額。通学(中学・高校・大学等)は1か月3600円〜12か月25000円
※2 1日1往復利用して採算がとれる1か月単位の日数

小山市内全線※「乗り放題」

今までは任意の1路線のみでしたが、norocaは11路線※が使えます!



※ 小山市駅東口循環線、小山市駅東口・新市民病院循環線、デマンドバスを除く11路線

購入には、マイナンバーカードが必要です

① マイナンバーカードをお持ちでない方は、市役所や出張所で簡単に申請できます

写真は必要ありません。初回発行は無料です。

申請に必要なもの

身分証(免許証、または保険証+診察券等)があれば申請できます。

※申請書(通知カードに同封されていたもの)があればお持ちください。

場所 受付時間: 平日の8:30~17:15
※城外出張所は月曜休

<市民課> 本庁1階 12番窓口
<出張所> 小山東・小山城南・大谷・間々田・生井・寒川・豊田・中・穂積・桑・絹の11ヶ所

② 「交付通知書」が届いたら、指定した受取窓口※へ

※市役所市民課、または各出張所

おおむね3か月程度かかります。余裕を持って申請してください。

受け取りに必要なもの

交付通知書 本人確認書類(免許証、旅券等)
 通知カード 住民基本台帳カード(お持ちの方のみ)

●問い合わせ先 小山市役所 市民課 0285-22-9402

norocaの他にも…持っていれば メリットいっぱいマイナンバーカード

- ① コンビニ等で証明書を取得可能
- ② 公的な身分証明書として使えます
- ③ e-Taxで、自宅から確定申告が可能
- ④ 図書館の書籍が借りられます

詳しくはコチラ

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/soshiki/21/2891.html>

平日に役所へ行けない方は郵便やスマホ等でも申請できます

詳しくはコチラ

<https://www.kojinbango-card.go.jp/kofushinse/>

いまさら聞けない!?

おーバスの乗り方

1 行先とバス停を確認しよう

- あなたの家や行きたい場所に近いバス停は? p4~5の路線図で確認してみましょう。
- おおむね300m圏に1つバス停があります。
バスでのお出かけプランを立ててみよう
自宅の最寄バス停 ()
~目的地の最寄バス停 ()
使用する路線名 ()

2 バス停でバスを待とう

- バス停の行先と時刻表を再確認しましょう。バスは道路の状況により遅れることもあります。運行情報はWebでチェック!
BusGO! (バスロケーションシステム) <http://o-bus.bus-go.com/>



3 バスに乗ろう

- 前の扉から乗車します。ドアが2つあっても前乗り、前降りです。
- 降りる人がいたら待ちましょう。
- 運賃は降りるときに支払います。



4 席に座ろう

- 席に座るか手すりにつかりつかまりましょう。
- お年寄りや、体の不自由な人には席を譲りましょう。



前方の電光掲示板に、次の停車駅が表示されます。

5 降車ボタンを押そう

- 降りたいバス停が表示・アナウンスされたら降車ボタンを押します。(誰も押さないと通過します)



6 どれだけ乗っても200円

- 運賃箱にお金か回数券※1を入れます。運賃は大人200円、子供100円です。
- 他の路線に乗継ぐ場合は運転手さんに伝えましょう。100円引きになる乗継券※2がもらえます!



7 到着! 前の扉から降りましょう

※1 回数券はバス車内で購入できます。回数券は、小山市駅東口循環線及び小山市駅東口・新市民病院循環線ではご利用いただけません。
※2 乗継について運賃から100円引になります。乗継前のバス降車時に、運転手より乗継券の発行を受けてください。

腕・技・心 おーバスを支える人々



大光山さん(社長) 大山有紀さん(運行管理) 運転手さん

おーバスは小山市を始め、様々な方々によって支えられています。今回は、高岳線などおーバスの5路線を運行している大山タクシー(有)の皆さんに、仕事の上で大切にしていることなどを伺いました。

社長さん「海外に行ったときなどに感じるのですが、交通は「まちの顔」と思っています。文字が読めなくても地図が読めなくても、交通事業者が心地よい対応で目的地を教えてくださいると、そのまちがとっても心地良く感じられます」

運転手さん「市民の方に声をかけると、コミュニケーションが生まれます。バスは運転士一人に対して多くのお客様が乗車されていますが、お客様がバスを降りるときには、一瞬だけ、お客様と運転士が1対1になる。つまり『一期一会』なんです。それだけに、挨拶やコミュニケーションを大切にしています」

そんな運転手さん、どんなきっかけでここで仕事を始められたのでしょうか?

運転手さん「大山タクシーのある運転手さんが、ドアを手で開け閉めしているのを見たことです。普通、タクシーは自動ドアですよ。でも自動ドア任せだと、例えばスカートの裾が挟まってしまうこともあるから、自分で動く。そのように丁寧、安心を心がけている所に心を動かされて、ここで働きたいと思いました」

運行管理者さん「できるだけ丁寧なというのは、社長が毎朝朝礼で言っていることなんです。私は、主に住民の方からの問い合わせ対応や、バスの運行に関わる全体の管理、例えば台風が来た後にちゃんとバスが通れるかの確認などを行っています。お客様とドライバー、小山市の間をつなぐような立場ですが、これもまた、おーバスを支える大切な仕事と思っています」



「このままでは、小山からバスがなくなってしまう」危機感を覚えた市役所では、民間のバス会社が撤退する事態を想定し、何年もかけて研究や対策を繰り返して、市民へのアンケート調査、日本各地のバスの事例の勉強、現在のおーバスの原型になる「市」が運行するバスの実験も行われました。

一方、この間も利用者の減少は続き、バス会社の経営は厳しくなっていました。そしてついに平成一五年(2003年)「2号」路線すべてについてバスを廃止するという意思が、バス会社から示されたのです。バスを通勤通学、通院、買い物等の定めている人たちは大々的に驚きました。これらの人たちの暮らしは、どうなってしまうのでしょうか…?

「このままでは、小山からバスがなくなってしまう」危機感を覚えた市役所では、民間のバス会社が撤退する事態を想定し、何年もかけて研究や対策を繰り返して、市民へのアンケート調査、日本各地のバスの事例の勉強、現在のおーバスの原型になる「市」が運行するバスの実験も行われました。

民間のバスは、なぜ消えたのか? 高度成長で暮らしは豊かになり、多くの世帯に自家用車が普及しました。バスを使っていた人々も勝手に自家用車を使うようになったため、昭和40年代後半から、バスの利用は急速に減っていき、道路渋滞も激しくなり、時刻表通りの運行が難しくなりました。運賃収入が減って赤字が増え、バス会社もしかたなく運行本数を減らしたり、利用者が少ない路線を廃止したりしました。

民間のバスは、昔は小山から、民間のバスがたくさん走っていました。そしてもう一つは、いまのおーバスのような「市町村が運行するバス」です。その、おーバスは小山市によって運行されているのです。

「民間のバスは、なぜ消えたのか? 高度成長で暮らしは豊かになり、多くの世帯に自家用車が普及しました。バスを使っていた人々も勝手に自家用車を使うようになったため、昭和40年代後半から、バスの利用は急速に減っていき、道路渋滞も激しくなり、時刻表通りの運行が難しくなりました。運賃収入が減って赤字が増え、バス会社もしかたなく運行本数を減らしたり、利用者が少ない路線を廃止したりしました。」

連載コラム

Oh! バスって意外!?

藤井聡

「お洋服と乗り物」編

突然ですが、皆さんは今日一日、どのような洋服を着ていましたか?

一日中家でゆっくりしていたなら、気軽な格好で過ごしていたかもしれませんし、「すぐソコ」にお買い物等でお出かけするだけだったら、やはり気楽なお洋服を着ていたかもしれません。ですが、それなりにきちんとした格好をしていなければ何となく居心地が悪い場所はあるのではないのでしょうか。そんなところは、どんなところなのでしょう。

おそらくは、「家の中」ではないでしょうし、犬の散歩やジョギングで通る「道路の上」や「近所の公園」でもないでしょうし、閉ざされた「クルマの中」でもないことでしょう。そして、クルマを使って訪れるコンビニエンス・ストアやスーパーも少し違うのではないのでしょうか。

ところが、「バスの中」や「電車の中」、「鉄道の駅」ではどうでしょう。

あるいは、バスや電車を訪れる駅前の商店街や百貨店、あるいは、レストランなどではどうでしょう。多分、

そうした場所では、少しだけ、ちゃんとした格好で出かけよう、とお考えになるのではないのでしょうか。

もちろん、クルマを使っている、きちんとした格好でお出かけすることもあるでしょう。でも、クルマを使っている限り、そういう回数が減ってしまうのではないのでしょうか。

もちろん、毎日緊張し続けるのは大変なことです。でも、たまには、少しお洒落でもしてお出かけするのも、楽しいことではないのでしょうか。せっかくのお洋服も、それを着るための「ちょっとした機会」がないと、もったいないかも、かもしれません。

ふじい・さとし

1968年奈良県生まれ。京都大学卒業。同大学大学院工学研究科教授。専門は公共政策論。京都大学レジリエンス実践ユニット長、2012年から2018年まで安倍内閣において内閣官房参与を務める。「表現者クライテリア」編集長。著書多数。

小山からバスがなくなる?

「いつまでも「おーバス」のことはありませんけれども、小山にはそんなピンチがあったのです。それは現在の私たちに、決して無関係の話ではないかもしれません。これは高度成長時代から今日まで、そして明日を考えたときに、

平成10年3月、小山から、民間のバスが姿を消しました。外見からはわかりませんが、実はバスには「種類」があります。一般的なのが民間のバス会社が運行するもので、東京や宇都宮、その他の都市などでは、今もたくさん走っています。昔は小山から、民間のバスがたくさん走っていました。そしてもう一つは、いまのおーバスのような「市町村が運行するバス」です。その、おーバスは小山市によって運行されているのです。

民間のバスは、なぜ消えたのか? 高度成長で暮らしは豊かになり、多くの世帯に自家用車が普及しました。バスを使っていた人々も勝手に自家用車を使うようになったため、昭和40年代後半から、バスの利用は急速に減っていき、道路渋滞も激しくなり、時刻表通りの運行が難しくなりました。運賃収入が減って赤字が増え、バス会社もしかたなく運行本数を減らしたり、利用者が少ない路線を廃止したりしました。

民間のバスは、昔は小山から、民間のバスがたくさん走っていました。そしてもう一つは、いまのおーバスのような「市町村が運行するバス」です。その、おーバスは小山市によって運行されているのです。



おーバス波乱万丈・上